

公開保育・研究会

子ども達の興味や関心を駆り立てる保育の連続性

乳幼児期は、成長と共に発達過程の中で、身近な人や自然等のかかわりの中で主体的に学び、行動し、環境を通して人格形成の基礎を培う大切な時期です。

子どもたちの興味関心の芽を育み、より楽しくワクワクするような遊びと学びにつながるような環境構成を模索し、日々の保育を大切に考えています。

その様な姿が保育教諭のかかわりの中で自然に育まれていく子ども達の姿を、園に関わる様々な皆様と共有し、様々なご意見をいただきながら学びを深め、質の向上を図っていきたいと考え、公開保育・研究会を計画しました。今回の公開保育・研究会を通し、スタッフ一同、子ども達一人ひとりの想いを受け止め、成長発達を支え、学びの連続性を大切にしていこうと改めて思いました。

1. 公開保育実施日 令和6年7月30日（火） 認定こども園 こもれびのもり幼稚園

9：30～10：20 公開保育（フリー参観）

10：20～11：40 研究協議（鼎談）

「幼児教育と小学校教育との対話」

～子どもが伸びやかに育つ架け橋のために～

群馬大学 教授 音山若穂氏

八戸市教育委員会 教育指導課指導主事 岩城淳史氏

学校法人 鳳明学園 認定こども園こもれびのもり幼稚園 岩館和歌子

12：00

閉会

2. 発表クラス・テーマ

0. 1歳児クラス 『 さわって 感じて 』

2・満3歳児クラス 『 みて 発見して 』

3歳児クラス 『 ふれて 喜んで 』

4歳児クラス 『 思いを つなげて 』

5歳児クラス 『 話して 聞いて 』

3. 公開保育参加者人数

小中学校関係者	・・・	8名	
教育委員会関係者	・・・	1名	
こども未来課	・・・	1名	
こども支援センター	・・・	6名	
あおもり幼児教育センター	・・・	1名	
幼児教育・保育関係者	・・・	33名	
大学教授	・・・	1名	
養成校教諭	・・・	1名	合計52名

4. 公開保育・研究協議を終えて

(1)参加者からの感想・意見

【子どもの姿について】

- ・子ども達が主体的であると感じました
- ・子ども達の表情が生き生き、のびのびし、自分がやってみたい事を見つけて体験していて感動しました
- ・子ども達が何に気が付き何に面白さを感じているか、子ども達の見線を見る事ができました
- ・年長児がたくさん意見をだし話し合いをしていて素晴らしいと思いました

【保育教諭の関わりについて】

- ・子ども達と一緒に楽しみ、子ども達をよく見て実態に即した個別の対応をしていると思いました
- ・言葉がけが子どもに常によりそっていて学びになり、また、成長にあわせた保育展開が素敵でした
- ・年齢に関わらず子ども達の学びを発見する事ができました
- ・保育教諭の柔らかな表情が子ども達の活動のポイントになっていてやってみたいに繋がっているのではないかと思います
- ・自分が小さい頃に楽しんだような遊びが懐かしく、その遊びから子ども達が気づき発見がどれほどあるんだろうと感じました

【環境について】

- ・自然環境の素晴らしさを実感し、自然の中、様々な経験が出来るのはぜひたくではあるが、とても幸せなことだと思いました
- ・前回の時より、子ども達がわくわくするような環境構成となっていました
- ・2歳児の戸外遊びで、アジサイを使っていたが、中には毒性のあるものもあると聞くので、素材選びに気をつけたほうがよいと思います (※確認済み)
- ・室内の雰囲気がとても明るく遊びたくなる環境でした
- ・このような環境で毎日過ごしている子ども達は幸せだろうなど、改めて思いました。
- ・日本の四季が二季にといわれていますが、こもれびのもりさんには、素敵な四季が訪れるよう様に感じました。
- ・虫取りのシーンの姿をみていて、子どもと担任の贅沢なども良い時間にみえました。年長児のミーティ

ングで、話し合っていく姿勢や、保育教諭も一緒になって、盛り上がっている姿が素敵でした。

【保育内容について】

- ・自然の物を用いた制作、遊びが素敵でした
- ・普段の保育の中では、時間の区切りの中で制限してしまう事があるので、子どもにより添い自分で考えた事を尊重できるかを自分自身で考えて保育につなげていきたいと思いました
- ・0歳児から年長まで園としてこういう子に育ててほしいという想いが保育になっていると感じました
- ・同じ素材でも凍らせたり、そのまま作ったりと様々なコーナーがあって集中してあそんでいるように見えました

【研究会について】

- ・小学校の先生方からの意見も聞く事ができ、幼保小連携の難しさも感じた。自分達がこれから子ども達と関わる上で様々な課題を考えていきたいと思います
- ・子ども達の友達との関わりはずいぶん小さい頃から育まれているんだと実感しました
- ・小学校関係者の意見を聞く場が少ないので、こういう研修をしていただけて嬉しいです
- ・主体的な学びは、子どもが主役の自主性の育成が必要であることの音山先生の話に興味をひかれたつぶやきに耳を傾ける教育、0歳児から小学校2～3年への継続の重要性を感じました
- ・子どもに関わる様々な立場の大人が共に幼児教育について考えるような機会が県内もっと広がってほしいと思います

【小学校の立場として】

- ・園での感覚づくり、あそび、話し合い等、小学校教員も大切にしのぼしていきたいと改めて思います
- ・一人ひとりのやってみたいという思いを引き出し、大切にしていきたいと思います
- ・幼保小の教員が、思いを共有する事、またそれを継続する事が大切ですね
- ・毎回思う事は環境的にも人的にも、園は整う中で活動しているので、ストレスや不満なく過ごしていると思いました

しかし、小学校は、教育的環境的にも足りない中での活動となるので、大きなストレスを感じてしまう児童がでてくる実態もあります。その差をうめていく為にどうしたらよいかを今後も考えていきたいと思います。

・これからも幼保小の連携を是非続け、共通の思いを持つこと、思いの共有を継続していく必要があると思います。小学校現場では、子ども達は声にはできない表情から、教師は今どんな気持ちになっているのかを考えていく必要がありますね。学校では、教師が生徒に聞くことを大切にしているが、幼児教育はまずは見ることを大切にしているように思えます。小学校教諭も、子どもを信じてやっていく事を大切にしていきたいと改めて思いました。

5. 研究協議のまとめ

・今日の保育の様子をみながら子どもの主体性の大切さについて改めて実感しました

主体性を育くむ為に、子どもに全て任せるのではなく、保育教諭の配慮、関わり方が大切だと改めて思いました。

・2歳児の1人の女の子の様子をみていましたが、しばらく行動しようせず、立ちすくんでいました。それは、今どういう遊びをしようか悩んでいて、子どもの主体性が生まれようとするスタートラインであるのではとその姿から思い、大切にしたい姿だなとみていました

・保育の様子を見ていて、子ども達が遊びの中で、疑問や出来ずに悩んでいるシーンもあったが、保育教諭はそこですぐに答えを出して伝えるのではなく、子どもに考えさせようとする言葉、それを丁寧に待つ姿勢がよくわかり学ばせていただきました

・5歳児のクラスのそよかぜミーティングを見ていましたが、子ども達の話し合いから自分たちで意見を出し合いそれについて保育教諭が援助する姿がみられました

・保育教諭が、目線を合わせ、子どものつぶやきに敏感に耳を傾ける姿が印象的でした

・今回は0歳児から全てのクラスの保育を見せていただき、0歳時から学びに連続性があり育っている事を学びました。また、0、1歳児のクラスの子ども達も、小さいながらに自分の気持ちや意思がある事を感じました

・自然の中での体験や経験が、子どもにとって宝物であり 小学校教育への意欲へとつながっているのだと改めて思いました。

5. まとめと今後の課題

公開保育・研究会では、小中学校関係者や教育委員会、自治体、幼児保育関係者の皆様に参加していただきました。多くの皆様においでいただき、幼児教育に関心を寄せていただきましたことをとても嬉しく思います。

当日は、0歳児から就学前の子ども達が自然の中で様々な思いを感じ、自己を発揮している普段の姿をみていただきました。

普段の姿とはいえ、公開保育ということで、園全体が改めて保育への想い、子どもの育ち、ねらいや内容について深堀をしながら共有することにより、子どもの日々の育ちの姿をしっかりとみつめ、今どんな事に興味や関心を持ち、どのような発見や感動をしながら、周りの環境と関わっているのかを改めて考え、共通認識する機会となりました。

今後も、主体的に学び育まれていく子どもたち一人ひとりの姿を大切に、保育教諭としてより子どもに心を傾け、その時その時に応じた保育を大切にしながら、保育の質の向上を目指していきたいと思えます。

幼児教育と小学校教育をつなぐ大切な架け橋期、とはいえ、架け橋は5歳から始まっているものではない。そんな思いも新たに感じる事が出来ました。

今回の学びをきっかけに、改めて子どもの発達や学びの連続性を大切にしながら、やがて子どもたちが大きくなった時に、幼児期の経験が素敵な影響力をもってその子の人生を支えていってくれることを願わずにはられません。

今回ご参加くださいました幼児教育関係者、小学校関係者の皆様、そしてアドバイザーとして様々なご意見をくださいました初等教育、幼児教育の養成校の先生、青森県幼児教育センター、八戸市教育委員会はじめとする行政の皆様に心から感謝申し上げます。

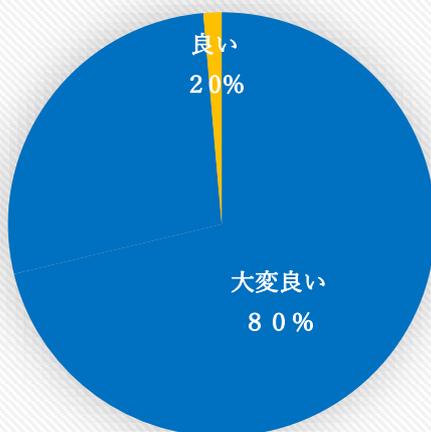
令和6年度 公開保育・研究会 評価表まとめ

学校法人 鳳明学園 認定こども園 こもれびのもり幼稚園

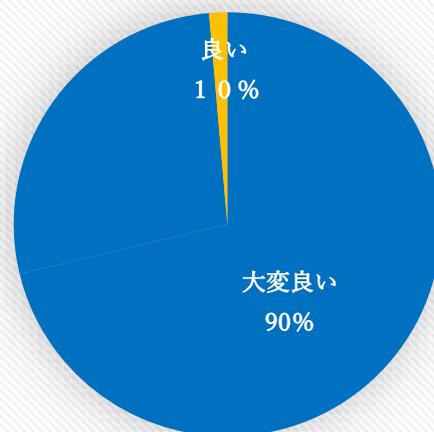
評価段階 5・・・大変よい 4・・・良い 3・・・普通 2・・・一部検討を要する 1・・・改善を要する

項 目		評価				
		5	4	3	2	1
1	資料（4月からの様子）から、本日の活動との連続性を感じられましたか	43	9			
2	園児は主体性を持ち、自らのやりたい、やってみたい活動に十分遊び込めていましたか	50	2			
3	園児は、友達や保育者との関わりを楽しんでいましたか	49	3			
4	保育者は子どもの思いを意識して気持ちに寄り添い、援助していましたか	50	2			
5	保育者の園児への言葉かけや接し方は適切でしたか	51	1			
6	保育室は、教育・保育のしやすい環境の構成がされていましたか	51	1			
7	園内外の環境や遊具、素材などは危険のないように安全面に配慮されていましたか	49	3			
8	公開保育・研究会に参加し、興味を持った事や、今後に生かしていきたい内容がありましたか	49	3			

1. 資料（4月の様子）から、本日の活動との連続性を感じられましたか。



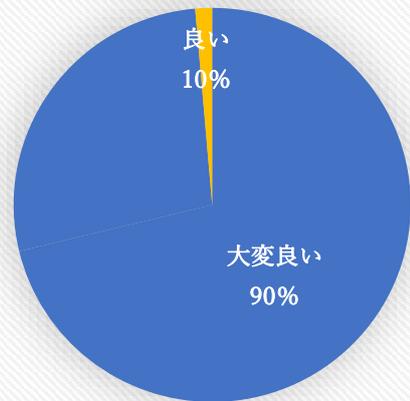
2. 園児は主体性を持ち自らやりたいやってみたい活動に遊び込めていましたか



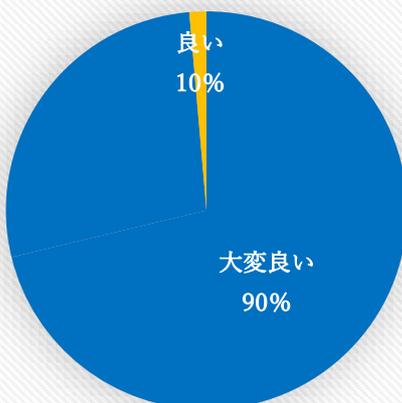
3.園児は、友達や保育者との関わりを楽しんでいましたか



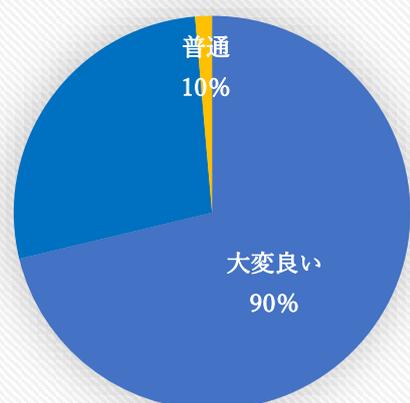
4. 保育者は子どもの思いを意識して気持ちに寄り添い、援助していましたか



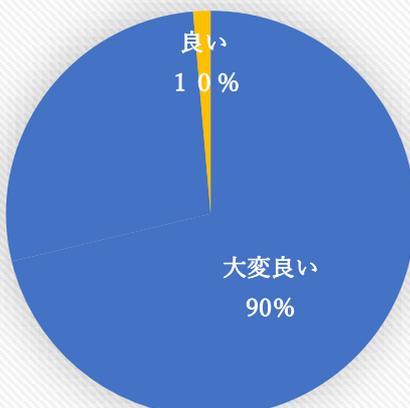
5 保護者の園児への言葉かけや接し方は適切でしたか



6.保育室は、教育・保育のしやすい環境の構成がされていましたか



7. 園内外の環境や遊具、素材などは危険のないよう安全面に配慮されていましたか



8. 公開保育・研究会に参加し興味を持った事今後に生かしたい内容がありましたか

